

- 問1 地図上で広島県西部の沿岸に位置し、中国・四国地方最大の人口を有する都市の特徴として、最も適切なものはどれか。(2023年 青森県公立入試 類似)
1. 地方中枢都市として、政府の出先機関や企業の支店などが集中している。
 2. 政令指定都市に指定されており、日本三名園の一つである後楽園がある。
 3. 四国地方最大の都市であり、夏目漱石の小説の舞台としても知られる。
 4. 本州と四国を結ぶ瀬戸大橋の起点があり、交通の結節点となっている。
- 問2 四国地方を構成する4つの県のうち、太平洋側に位置し、黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用した農業などが盛んな高知県の県庁所在地はどこですか。(2018年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 高松市
 2. 徳島市
 3. 松山市
 4. 高知市
- 問3 中国地方の中央部に位置し、広島湾に面する広島市は、周辺の県を含めた広域的な中心地としての役割を持っています。この都市が持つ機能や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。(2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 国の出先機関や民間企業の支店が集中し、地方中枢都市としての機能を果たしている。
 2. 瀬戸内工業地域の中核として、みかんなどの果樹栽培とそれを利用した食品加工業が最も盛んである。
 3. 四国地方最大の都市として、本州と四国を結ぶ交通の要所に位置する商業の中心地である。
 4. 広大な平野を利用した稲作が盛んであり、古くから食糧供給の拠点として発展してきた。
- 問4 四国地方の北東部に位置する香川県では、讃岐平野を中心に「ため池」が数多く点在しています。このように多くのため池が造られた気候的背景として、最も適切な説明はどれですか。(2025年 東京都公立入試 類似)
1. 南側の山地によって湿った空気が遮られ、年間を通じて降水量が少なく水不足になりやすいため
 2. 黒潮の影響で年間を通じて気温が高く、水田の水の蒸発量が非常に多いため
 3. 冬の季節風による積雪が多く、春先の雪解け水を一時的に貯蔵しておく必要があるため
 4. 大規模な火山活動によって形成された特殊な地質により、河川の浸食が激しく水が枯れやすいため
- 問5 愛媛県において、みかんをはじめとする果樹栽培が非常に盛んである理由として、自然環境の特色をふまえて説明したのものとして最も適切なものはどれですか。(2019年 兵庫県公立入試 類似)
1. 瀬戸内海沿岸の温暖な気候に恵まれ、水はけが良く日当たりの良い傾斜地が多いから
 2. 年間を通じて降水量が非常に多く、常に湿潤な平坦地が広がっているから
 3. 冬の寒さが厳しく、病虫害の発生を抑えることができる高冷地が中心だから
 4. 大規模な灌漑施設によって水の供給が安定しており、小麦やにんじんの栽培に最も適しているから
- 問6 四国地方の南部に位置する高知県は、黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かした農業が盛んです。四国の各県の農産物収穫量を比較した統計において、高知県が約3万9000トンという数値を記録し、四国地方で最大の収穫量を誇る農作物はどれですか。(2019年 兵庫県公立入試 類似)
1. なす
 2. みかん
 3. 小麦
 4. レタス
- 問7 愛媛県の農業産出額において、果実の占める割合が他の都道府県と比較して非常に高い水準にある理由として、最も適切な説明はどれですか。(2020年 岩手県公立入試 類似)
1. 大規模な平野を活用し、機械化された果樹園が広がっているため
 2. 日当たりの良い傾斜地が多く、かんきつ類の栽培に適しているため
 3. 都市近郊に位置し、鮮度が重視される高級果実を生産しているため
 4. 冷涼な気候を活かし、リンゴやサクランボの生産に特化しているため
- 問8 瀬戸大橋を含む本州四国連絡橋の開通にともなう交通の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。(2023年 群馬県公立入試 類似)
1. 高速道路の整備によって自動車による陸上交通が中心となり、鉄道連絡船との接続を目的としていた鉄道路線の廃止などの影響が見られた。
 2. 橋の開通によって本州と四国の往来が容易になった結果、フェリーの利用者数が急増し、港周辺の鉄道路線が以前よりも複雑化した。
 3. 自動車の通行料金を抑制するために高速道路の利用が制限されたため、一般道路の混雑が激しくなり、鉄道の重要性が再び高まった。
 4. 交通網の整備により四国地方への観光客が増加したため、かつて廃止されていた港への鉄道連絡線をすべて復旧させ、海運との連携を強化した。
- 問9 山形県、京都府、広島県、和歌山県の4県の統計を比較した際、製造品出荷額が約8.5兆円と4県の中で突出して高く、かつ農業産出額の内訳において畜産が最大の金額（約461億円）を示している県はどこですか。(2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 山形県
 2. 京都府
 3. 広島県
 4. 和歌山県
- 問10 広島県の農業産出額の構成において、畜産（約23%）や果実（約16%）、米（約13%）を上回り、全体の約4割近くという最も高い割合を占めている品目は何ですか。(2017年 富山県公立入試 類似)
1. 野菜
 2. 果実
 3. 畜産
 4. 米
- 問11 1988年に、岡山県と香川県を結ぶ瀬戸大橋が開通したことによって生じた交通体系の変化として、最も適切な説明はどれですか。(2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 本州と四国が陸上で結ばれたことにより、移動時間が大幅に短縮され、人や物の流れが活発になった。
 2. 本州と四国間の物流が鉄道から航空路へと完全に移行し、瀬戸大橋は観光専用の道路となった。
 3. 海上の視界が改善されたことでフェリーの運航本数が大幅に増え、陸上交通との競争が激化した。
 4. 四国地方から本州への人口流出を抑えるため、あえて移動時間がかかるような道路設計がなされた。
- 問12 中国・四国地方では、中国山地と四国山地という2つの山地が並行するように位置しています。この地形的条件が瀬戸内地方の気候に与える影響を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。(2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 冬は北西からの季節風が中国山地に、夏は南東からの季節風が四国山地に遮られるため、年間を通じて降水量が少なくなる。
 2. 冬は南東からの季節風が中国山地に、夏は北西からの季節風が四国山地に遮られるため、年間を通じて降水量が少なくなる。
 3. 冬は北西からの季節風が四国山地に、夏は南東からの季節風が中国山地に遮られるため、年間を通じて降水量が多くなる。
 4. 年間を通じて強い北西の季節風が吹き続けるため、雲が山地を越えてしまい、瀬戸内沿岸には雨が降らなくなる。
- 問13 瀬戸内地域の降水量が、日本海側や太平洋側と比べて少ない理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。香川県高松市の年降水量が約1150mmであるのに対し、日本海側の鳥取市が約1930mm、太平洋側の高知市が約2660mmと大きな差がある統計的背景を踏まえて答えなさい。(2022年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 季節風が山地によって遮られ、湿った風が届かず乾いた風が吹き込むため。
 2. 台風の主な通過経路から外れているため、年間を通じて湿った空気が流入しにくいから。
 3. 周辺を流れる寒流の影響を強く受け、空気中の水蒸気が凝結して雲になりにくいから。
 4. 内海であるため水面の蒸発量が少なく、上昇気流が発生しても雨雲が発達しないから。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 地方中枢都市として、政府の出先機関や企業の支店などが集中している。	問題文が指す都市は広島市である。広島市は中国・四国地方の地方中枢都市であり、行政機関や企業の支社が集まっている。後楽園があるのは岡山市、四国最大で小説の舞台（『坊っちゃん』）として知られるのは松山市、瀬戸大橋の本州側の起点は岡山県倉敷市であるため、他の選択肢は誤りである。
問2	答え 4 高知市	四国地方の南部を占める高知県の県庁所在地は高知市です。四国山地の南側に位置し、高知平野を中心に都市が形成されています。他の選択肢である高松市は香川県、徳島市は徳島県、松山市は愛媛県の県庁所在地であり、これらはいずれも四国の北側に位置しています。
問3	答え 1 国の出先機関や民間企業の支店が集中し、地方中枢都市としての機能を果たしている。	広島市のように、地方の政治・経済・文化の核となる都市は「地方中枢都市」と呼ばれます。広島市は中国・四国地方を代表する都市として、行政や企業の管理機能が高度に集積しています。選択肢にある「みかんの生産」は愛媛県などの特徴であり、広島市の中心的な機能はあくまでも都市としての管理・中枢機能にあります。
問4	答え 1 南側の山地によって湿った空気が遮られ、年間を通じて降水量が少なく水不足になりやすいため	香川県が位置する瀬戸内地域は、南側の四国山地や讃岐山脈が湿った季節風を遮るため、年間を通じて降水量が少ない瀬戸内式気候に属しています。大きな河川も少ないことから、稲作などの農業用水を確保するために、平安時代に空海が改修したといわれる満濃池をはじめとする多くの「ため池」が築かれ、現在も独特の景観を作っています。
問5	答え 1 瀬戸内海沿岸の温暖な気候に恵まれ、水はけが良く日当たりの良い傾斜地が多いから	愛媛県のみかん栽培は、温暖な気候に加え、地形的な利点を活用しています。果樹、特にみかんは日当たりが良く水はけの良い土地を好むため、瀬戸内海や宇和海に面した傾斜地が栽培に最適です。このように、自然環境を巧みに利用することで、年間収穫量12万トンを超える全国有数の果樹地帯が形成されました。
問6	答え 1 なす	高知県は平地が少ないものの、高知平野を中心に温暖な気候を利用した野菜の生産が非常に盛んです。特になすの生産量は全国的にも上位で、四国地方の中では他県を圧倒する収穫量を誇っています。なお、みかんは愛媛県、小麦は香川県などで収穫量が多くなる傾向があります。
問7	答え 2 日当たりの良い傾斜地が多く、かんきつ類の栽培に適しているため	愛媛県の農業産出額で果実の割合が高い背景には、その地形と気候があります。瀬戸内海沿岸を中心に日当たりの良い傾斜地が多く、水はけも良いため、かんきつ類の栽培に最適な環境が整っています。このため、米作り中心の平野部が多い地域とは異なり、付加価値の高い果実が農業経済の柱となっています。
問8	答え 1 高速道路の整備によって自動車による陸上交通が中心となり、鉄道連絡船との接続を目的としていた鉄道路線の廃止などの影響が見られた。	本州四国連絡橋の完成は、人や物の流れを「海運（連絡船）と鉄道の継ぎ」から「陸路（高速道路・鉄道）による直通」へと変化させました。これにより、移動時間が大幅に短縮される一方で、連絡船に接続していた港湾部への鉄道路線などは不要となり、姿を消していきました。地形図などの資料でも、1980年代にあった港への線路が、橋の完成後には消滅している様子が確認できることがあります。
問9	答え 3 広島県	広島県は瀬戸内工業地域の中核に位置し、自動車工業や造船業、鉄鋼業などが盛んなため、製造品出荷額が非常に高いという特徴があります。農業面では、米の生産が盛んな山形県や果実の生産が盛んな和歌山県とは異なり、この4県の中では畜産の産出額が最も大きくなっています。
問10	答え 1 野菜	広島県は広島市などの大消費地を抱えていることから、新鮮さが求められる農産物を供給する近郊農業が発達しています。統計資料によると、農業産出額に占める野菜の割合は38.6%に達しており、畜産や果実、米を抑えて最も主要な生産品目となっているのが特徴です。
問1	答え 1 本州と四国が陸上で結ばれたことにより、移動時間が大幅に短縮され、人や物の流れが活発になった。	1988年に開通した瀬戸大橋は、本州（岡山県）と四国（香川県）を道路と鉄道の併用橋で結びました。これにより、それまで船舶に頼っていた交通が陸上交通へと転換され、移動時間の劇的な短縮が実現しました。その結果、経済活動や生活圏の拡大など、地域間の交流が非常に活発になりました。
問1	答え 1 2 冬は北西からの季節風が中国山地に、夏は南東からの季節風が四国山地に遮られるため、年間を通じて降水量が少なくなる。	日本の気候は季節風の影響を強く受けます。冬は日本海側から湿った北西の季節風が吹きますが、中国山地がこれを遮るため、山陰側で雪や雨が降り、瀬戸内側には乾燥した空気が流れ込みます。逆に夏は太平洋側から湿った南東の季節風が吹きますが、四国山地がこれを遮るため、四国地方の太平洋側で雨が降り、瀬戸内側には湿った空気が届きにくくなります。この仕組みにより、瀬戸内地方は年間を通じて降水量が少なくなります。
問1	答え 1 3 季節風が山地によって遮られ、湿った風が届かずに乾いた風が吹き込むため。	日本の気候は季節風の影響を強く受けますが、瀬戸内地域は北側を中国山地、南側を四国山地に囲まれています。夏は太平洋からの湿った風が四国山地に遮られ、冬は日本海からの湿った風が中国山地に遮られます。その結果、山を越えて水分を失った乾いた風が瀬戸内側に吹き下ろすため、年間を通じて降水量が少なくなります。高松市の降水量が鳥取や高知に比べて大幅に少ないのは、この地形的要因によるものです。